

この結果、

- ・接木苗の工業製品化のスタートを切りました。
- ・接木苗の安定供給の目途が立ちました。

#### 4) 商品開発

当社の歴史は新商品開発の歴史です。

##### ①アースストレート苗の開発

従来の接木苗の種類は

- ・「プラグ苗：小さな接木苗で直接定植するのでなく、いったんポット苗などに鉢上げして大きな苗にしてから定植する苗」
- ・「ポット苗：直接定植が可能な大きな苗」という2種類の苗が主流でした。

1995年、当社をトップ企業に押し上げる原動力となった「アースストレート苗」が開発され、販売を開始しました。

「アースストレート苗」は根鉢の部分が生分解性の不織布でできており、そのまま定植することが可能な苗です。通常のポット苗のようなプラスチック等の廃棄がなく、自然に優しく、ポットを除く手間も無く、且つ培土を少なくして製造コスト及び輸送コストを大幅に削減した、大ヒット商品となりました。



アースストレート苗

##### ②ヌードメイク苗の開発

「ヌードメイク苗」は一次育苗後、穂木・台木を接木し、接木部を断根した直後の苗のことで、鉢上げ（土に植え込まない）はしていません。二次育苗

はユーザーで行います。（写真参照）

「ヌードメイク苗」は面白い発想から生まれました。

会社の発展に伴い、育苗施設の狭隘から二次育苗施設の専門農場として第二農場を立ち上げ、二次育苗し接木した苗を毎日ほぼ10km、20分の道のりで輸送し植え込みを行うことが日常化していました。そこで、これならばヌードメイク苗をナーサリーセンター等の育苗業者に輸送し、そこで二次育苗を行うことも可能なのではないかと。



ヌードメイク苗

特に、輸送コストがかからず良質な山口園芸の接木苗であれば、合理化を迫られているナーサリーセンターに「接木要員を廃止して」ヌードメイク苗による二次育苗専門業者として再生できるのでは、との発想から生まれた商品なのです。

販売を開始して以来

- ・JA全農（旧経済連組織）のナーサリーの中で、即切り替えたナーサリー
- ・繁忙時の対応として一部購入に踏み切ったナーサリー
- ・種苗店・ホームセンター等の春物委託農家（コメリ・ホームグリーン等）

などの多方面の業者からの圧倒的な支持を寄せられています。

##### ③ヌードメイク苗による委託生産農場の開拓・深耕

ヌードメイク苗は、その後予想を超えて戦略商品として、一人歩きを始めます。

ヌードメイク苗販売による各ナーサリー、育苗業